

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費 (内地補償費)	億円
		通常砂防事業 寺谷川 ^{てらたに}	洲本市 由良 ^{ゆら}		約 1.8 (約 20百万円)
所在地				着工予定年度	完成予定年度
洲本市 由良				H15年度	H17年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置して地域住民の人命・財産及び災害弱者関連施設である保育所を保全する。			・砂防堰堤工 2基 { 透過型堰堤 (H = 6.5m, L = 43.0m) 不透過型堰堤 (H = 8.0m, L = 57.0m)		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		・寺谷川は土石流危険渓流である。 ・流域状況は近年の降雨で渓流の荒廃が進んでいるが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象 : 人家 = 12戸、公共施設 = (主)洲本南淡線、市道、小学校 災害弱者関連施設 = 保育所			
地域の活性化		・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。			
快適性・ゆとり		・堰堤工設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより安全で快適な生活空間を提供する。			
その他		・地元からの事業化への要望が強い。			
(2)有効性・効率性 有効性		・人命・財産(人家12戸)、(主)洲本南淡線、市道のほか小学校、保育所が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。			
効率性		・地元からの要望が強く、市等の協力体制があるので円滑な事業執行が可能である。			
(3)環境適合性		・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠を施すなど周辺景観に配慮する。			
(4)優先性		・土石流の想定被害区域には人家12戸、県道、市道、小学校及び保育所がある。 ・流域の荒廃が著しく進んでおり土砂災害の危険性は高い。 ・このため由良地区の人命・財産の保全のために早急な対策が必要である。			